

令和3年度 長崎県立口加高等学校 学校評価表

本校教育方針	新しい時代を逞しく切り開く知・徳・体の調和のとれた人間の育成を図り、郷土や国際社会に貢献できる有為な若人の育成を目指す。
目指す生徒像	(1) 自律の心で自分の意志や判断によって行動する生徒 【主体性】 (2) 利他の心で公共のために他者と協力・活動する生徒 【協働性】 (3) 寛容の心で他者の価値観を尊重し多様性を受容する生徒 【多様性】
前年度の成果と課題	(1) 全体的には適切な指導が行われ、一定の成果を上げている。 (2) 生徒達は大学・短大・専門学校等への進学、福祉系・公務員を含む就職など多様な進路志望を持つため、進路情報の提供や講演会の実施による進路意識の向上や授業力改善など指導体制を整備する必要がある。 (3) 福祉科の国家試験合格率や進路実績が地域への最大のアピールとなるのもっと生徒の力を付けていきたい。 (4) 入学者数の増加が喫緊の課題であり、更なる広報活動と生徒募集に力を入れる必要がある。
努力目標	(1) 信頼される学校の確立 (4) 品性ある生徒の育成 (2) 確かな学力の保証と進路の実現 (5) 文化・体育活動の振興 (3) 豊かな心の育成 (6) 保健・環境美化の充実

令和3年度 学校自己評価（最終評価）

【学校自己評価】分掌等で設定した目標について4段階で評価する。

4：十分達成できている 3：ほぼ達成できている 2：あまり達成できていない 1：達成できていない

分掌等	努力目標	具体的な方策	最終評価 (4段階)	成果と問題点	次年度改善策
教務部	(1) 円滑な校務運営	①各学年や他分掌との意思疎通を図ることで連携を密にし、学校行事の円滑な企画・運営を行う。	3.5	行事予定確定、週計画確定の集約を改善した、調整会で今後の動きの早めの周知・投げかけを実践した。	屋休みの生徒集合なども週計画に掲載できるようにする。
	(2) 教育課程及び教務事務の適切な実行	①編成した教育課程が生徒の学力伸長や進路希望などの実態に即しているかを精査し、より実効的な教育課程の編成を行う。	3.6	新課程は昨年度からの準備を引き継ぎ、順調に決定に至った、旧課程混在の教育課程実施対応や生徒の実態対応で選択科目等を見直した。	新・旧課程混在の円滑実施、新しい観点別評価の円滑実施に向けての説明と周知をする。
		②国家資格試験の受験資格を得られる教育課程を実施する公立高等学校として、適切な授業を行い、考査、成績算出、出席管理、諸票簿管理等を厳正に行う。	3.6	新課程の成績評価を研修で検討できた。成績算出の不備をなくするため成績シートを改良し、諸票簿のチェックを厳正化できた。	諸票簿の厳正処理の徹底呼びかけ、特にコロナ対応を含めた諸票簿標記の在り方を早めに示す。
	(3) 事務室と連携して、教育環境を整備する。		3.6	必要な備品の検討をこまめに行い、事務室にも対応していただいた。	無駄遣い防止も呼び掛けたい。
	(4) 図書館運営の充実	①「読りの時間」や情報誌を活用し、図書館の利用をより高めるための環境づくりに努める。		3.4	各教科の専門書購入を引き続き行った。図書委員手書きの図書だよりの定期発行ができた。
②図書委員会の活性化を図り、図書を整備・点検、及び興味・関心を抱きやすい図書の充実を図る。			3.7	放送室前の図書館掲示板をさらに充実できた。図書だよりで先生方のインタビュー式推薦書紹介を新たに掲載できた。	現状でも少ない担当者でよく工夫されていることに感謝している。

広報 研修部	(1) 広報活動を活性化し、情報公開に努める。	①学校の最新情報をタイムリーに提供する。 (ア)「口加だより」および「口加通信」を定期的に発行する。	3.9	口加だよりは、予定通り毎月保護者に発行できた。口加通信は、予定通り4月～11月の期間、各中学校に発行できた。	次年度も継続して発行する。志願者増につながる内容を検討する。
		(イ) WEBページの内容を概ね週1回更新する。	3.7	各行事ごとに更新できた。	各行事の担当者がwebに内容をアップできるようにする。
		②モニター等を利用した、効果的な情報提供に努める。	3.3	モニター利用が一貫してできていない。利用する内容の精選が必要。	モニター利用のひな型を作り、それを利用してその日の各行事の事前告知、行事の日程、来校者情報等をモニターに移す方法を検討する。
		③オープンスクール、学校説明会において、校内外の活動のアピールを行う。	3.1	5月の学校説明会、8月末のオープンスクールが中止になり、6月、11月の学校説明会のみとなった。出前説明会の案内もしたが、中学校からのリクエストはなかった。	オープンスクールを7月末に実施する方向で検討する。今年度実施したオープンスクールWeb版を充実させる。
(2) 生徒・職員研修の充実と推進を図り、生徒・職員の資質向上に努める。	①タブレット導入等の準備を行い、ICTの効果的な活用を図る。	3.9	タブレット端末の導入に関しては比較的スムーズに行き、導入後のトラブルも少ない状態である。※落下による破損が数台	授業での活用を推進していくために、各教科での取り組み事例の収集や蓄積を行っていく。また、研修の充実を図る。	
	②研究授業や公開授業、授業評価アンケートを通して授業改善に努め、教師間で自主的な授業力の向上を図る。	3.3	経年研の対象者以外にも、各教科において研究授業を実施してもらい、参観を呼びかけた。研究授業の参観者をもう少し増やしていくことや、日常的に授業参観ができる環境作りが必要である。	相互授業参観週間を設定するなど、気軽に他の先生方の授業を参観できる機会を作っていくことと、研修によって学んだことを他の先生方と共有できるシステム作りを行う。	
	③人権・同和・平和教育、芸術鑑賞等のあり方を研究し実践する。	3.5	各行事も計画的に立案から実施までできた。特に今年度は人権教育発表校であったため、生徒がより自分事としてとらえる方法などを研究できた。	平和学習の実施方法について再考する。また、人権教育も今年度から継続して取り組ませる方法を検討したい。	
	④県教育センターや研究機関が主催する校外研修への積極的な参加を呼び掛け、研修後はその成果を教科会や分掌会等で共有する。	3.1	タブレットPC導入の研修については、比較的スムーズに実施することができた。小論文指導の研修も好評であった。研修案内を十分にできていない部分もある。	スキャナーを活用して研修案内をPDF化し、ポータルサイトを利用して案内するようなシステムを構築したい。	
	⑤学年・部活動・事務室と連携し、「青雲寮」の円滑な管理・運営に努める。	2.8	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、宿泊を伴う活動が制限され、ほとんど使用されない状況であった。	光熱費等の基本料金は支払っているのに、赤字経営である。	
	(3) PTAと地域の連携を図る。	①PTA各種委員会の活性化とPTA研修の充実を図る。	3.7	いろいろな制限がある中で、できることを考え、工夫をした活動ができた。秋季研修会は内容が保護者に好評であった。	PTAの方が大変なだけでなく、参加して良かったと思えるような内容の充実をさらに図っていく。
②地域行事等に積極的に参加し、PTAと地域の親睦を図る。		3.4	地域の行事自体が中止になったりしたので、思うような参加ができなかった。	ふるさと教育も含めて、地域との連携を進めていくことと、地域のイベント等への参加を積極的に呼びかけていく。	
生徒 育成部	(1) 社会に貢献できる人材を育成する。	①端正な容儀に努めさせる。	3.1	概ね実行できたが、規程の周知が徹底できていなかった。	制服の移行期間前に規程の周知を徹底する。
		②挨拶を励行し、時間を厳守させる。	3.1	概ね実行できた。次年度も継続して行っていきたい。	授業時の挨拶等の取り組みで改善をする。
		③ボランティア活動をはじめとする対外的な行事を通して、地域に根ざした社会集団の一員としての自覚を促す。	3.4	コロナ禍で通常通りに行うことが難しかったが、その状況の中でもできる活動を模索した。	
		④清掃活動を通して、徳の教育の充実を図る。	3.2	概ね実行できた。次年度も継続して行っていきたい。	校内美化の意識を高める。
	(2) 生徒一人ひとりに帰属意識を持たせ、愛校心を涵養する。	①自主自律の精神に基づいた生徒会活動によって、生徒が主体となった行事の企画・立案ができるように促す。	3.6	生徒会や委員会が主体となり、行事等を概ね問題なく遂行することができた。	委員会活動の見直しをする。
		②部活動を活性化し、心身の健全な育成に努める。	3.4	コロナ禍で通常の活動に制限がかかったが、頑張って活動できた。	

	(3) 問題行動を未然に防止する	①分掌・学年・保護者・地域・関係機関との連携を密にし、情報収集を行う。	3.3	問題等が発生した際には速やかに対処することができた。	各学年会や担任会からの情報収集を行う。
		②登校指導や巡視を円滑に実施する。	3.0	校内巡視については、学期始めや考査前に学年で取り組んでもらうように提案した。	巡視期間の連絡の徹底をする。
	(4) 交通安全への意識を高める。	①交通関係の集会を実施する。	3.5	概ね実行できた。次年度も継続して行っていききたい。	
		②自転車盗難防止活動を継続する。	3.3	概ね実行できた。次年度も継続して行っていききたい。	委員会活動を活発にする。
進路指導部	(1) 進路意識・学力の向上	①学年・教科・部活動等と連携を取りながら、学習時間の確保を推進する。	3.3	make it note等を活用した。	来年度も継続していく。
		②学年集会・進路講演会等を通じて、生徒の夢ある進路目標の手助けをする。	3.6	6月に3年生・8月、1月、2月に1・2年生向けに進路講演会を実施した。	例年より多く開催することができた。
		③進路指導室・自習室・就職指導室を利用しやすい環境に整える。	3.0	過去の資料の廃棄を進めた。	もっと整理を進める。
		④時期に応じた適切な進路情報を提供し、保護者の進路意識の高揚を図る。	3.1	5月のPTAは実施できなかったが、8月に保護者向けの進路講演会を実施した。来年も検討したい。	情勢に合わせて保護者への発信を行う。
	(2) 進路指導体制の確立	①個々の進路希望に応じた進路指導体制を確立する。(国公立大学合格30人を目標とする)	2.9	3年補習では公務員クラスと短大・専門学校クラスを作った。	国公立大学の合格者数を増やすために、学校全体で学力の向上に一層努める必要がある。
		②補習・模試・学習合宿等を計画的に実施する。	3.4	学年と相談しながら実施することができた。	模試の受け方について細かく検討することができた。
		③各模試・実力テスト毎の結果分析を詳細に行い、学習指導・進路指導に活用する。	3.3	学力検討会・志望校検討会を実施した。ポータルなども利用して情報の共有を図った。	内容についてさらに検討していく。
		④教員間の意思疎通を図り、充実した進路指導に繋げる。	3.0	学力検討会・志望校検討会を実施した。	1・2年の検討会を職員研修をかねて実施した。来年度は日を分けて実施したい。
	(2) 教員研修の充実	①校外研修、大学入試研究を通して指導力向上の場を設ける。	3.1	進研協主催の九大入試問題研究会(オンライン)にはたくさんの先生に参加していただいた。	学力検討会や志望校検討会などを通じて研修を進めていきたい。
		②総合型選抜入試や学校推薦型選抜入試等に応じた指導の研究と実践に努める。	3.1	3学年ではかなり進めることができた。	評定のあり方などにも提言をしていきたい。
		③大学入試改革を見据え、新傾向問題に対応できる力を育てる授業の推進と研修に力を入れる。	2.9	3年実力テストの作成などを通して各教科で研修の機会を設けた。	オンライン配信の研修など3年生や進路以外にも情報を共有する必要がある。
		④3年間を通じた進路指導体系を確立し、地域の中核校としての意識を高めさせる。	3.1	学力検討会・志望校検討会を実施した。	学力検討会や志望校検討会などを通じて研修を進めていきたい。
保健相談部	(1) いじめや不応生者の早期発見に努める。	①相談部会を定期的開催し、生徒情報を共有し、連携して早期に対応する。	3.4	様々な原因により教室登校が困難な生徒に対応し、できるだけ早期に対策を学年団と共有し、教室登校ができるようになった生徒もいる。しかし全員が解決しただけではない。	保健相談部会を週1ペースで継続して行う。
		②「高校生活アンケート」を用いて生徒の変化をつかみ、学年(学級)経営と指導に役立てる。	3.5	紙面記入とデータ入力を行い、困り感のある生徒の面談、支援に役立てることができたが、生徒の入力間違いにより一致しないこともあった。	来年度は従来通りの紙媒体で実施したいと考えている。
		③ロカロールームを有効に活用して、生徒の相談に対応できるようにする。	3.6	一時的な生徒の避難所としての役割は果たしているが、複数名には対応できない。また、SC来校の際は図書館等をお借りしなければならぬ。	常時利用者への対応については今後検討する。また、無断借用がないよう使用ルールを決める。

	(2) 特別な支援を要する生徒や多様な生徒に組織的に対応できる体制を整備拡充する。	①健康面・学習面・生活面・対人面等において、配慮の必要な生徒に対する校内支援体制を確立する。また、必要に応じて保護者・外部専門機関(SC,SSW等)との連携を図る。	3.6	教育相談委員会へのSC出席等も含め、SC面談計画を立て、生徒の支援体制を確立することができた。	継続する。
		②奨学金の募集案内を的確に行い、手続き等を迅速に行う。	3.6	JASSO、長崎県育英会をはじめ、様々な募集案内が来るが、その都度生徒への案内やポスター掲示に努めている。	継続する。
	(3) 健康診断、各種心理検査を適切に実施し、結果に基づく事後指導を的確に行う。	①眼科・歯科については、定期的に受診状況を確認し、治療・改善を促す。	3.6	定期的に治療を促し、治療率は視力32%、歯科41%だった。さらに声かけをしていく。	治療率を上げるための工夫を検討する。
		②心理検査結果について説明会を実施し、生徒理解に活用する。	3.4	1学期終わりに福岡心理テストセンターから講師を招いて、説明会を実施することができた。	継続する。
	(4) 広報の活性化に努め、健康の大切さについて啓発する。	①「保健だより」「ロカロールームだより」等を発行し、健康管理の実践的態度を育てる。	3.3	「保健だより」については定期に発行できたが、「ロカロールームだより」はできなかった。	ロカロールームだよりの発行計画を立てて取り組む。
		②生徒保健委員会の活動を通して、健康寿命に対する意識の高揚を図る。	3.2	保健だよりには健康に関する記事を充実させ、健康寿命に関して啓発することができた。	保健及び体育の両委員会の活動に取り込んで、啓発する。
	(5) 安全管理に努め、衛生的な環境づくりを推進する。	①安全点検・環境衛生検査による健全な学習環境の管理を適切に行う。	3.4	各種点検については、学校薬剤師の指導の下、適切に行うことができたが、破損の修理等改善出来ていないところもある。	特にトイレに関する衛生環境の改善に向けて、事務室と連携していきたい。
		②防災計画・危機管理マニュアルを整備する。	3.4	年度初めにマニュアルを整備し、全職員に配布している。	継続する。
事務部	(1) 関係規則・法令等に則り、適正な会計事務執行に努める。各人が知識の習得に努めるとともに、事務室内の相互チェックを意識的に行う。	①関係規則・法令等の確認を行う。	3.6	概ね実行できている。	規則・法令等をもっと手軽に検索できる環境づくりに努めたい。
		②書類の供覧を行う。	3.7	概ね実行できている。	誤記や計算ミスだけでなく、内容そのものについての可否についても確認するよう努めたい。
	(2) 安全・安心な学校生活を送ることができるよう、施設設備等の維持・管理及び整備に努める。	①校内の点検や安全衛生委員会の報告を基に施設設備等の維持・管理及び整備を行う。	3.4	早期の執行に努めているが、あまり追いついていないのが現状である。	確実な予算確保と迅速な事務処理に努めたい。
	(3) 節電・節水等に努め、地球環境の改善並びに経費の節減に努める。	①目標使用量を定め、使用量が多い場合は節減を呼びかける。	3.5	特に普通教室等エアコンの使用料が年々上昇している。	更なる節減の呼びかけを行うとともに数値等の周知を図りたい。
	(4) 給与・福利厚生等について、職員からの相談等に適切に対応できるよう努める。	①手当・福利厚生等について対象職員を把握し、必要書類の呼びかけや制度の説明を行う。	3.6	支給・払戻等に支障が出るようなことは特になかった。	今後もしっかりと現状把握に努めたい。
	(5) 生徒・職員及び来校者が気軽に立ち寄ることができる事務室の雰囲気づくりに努める。	①常にコミュニケーションを取り合い明るい雰囲気を作る。	3.7	概ね実行できている。	掲示を行うなど、更に話しやすい環境づくりを工夫したい。

令和3年度 学校評価アンケート結果【生徒】

4：そう思う 3：どちらかと言えばそう思う 2：どちらかと言えばそう思わない 1：そう思わない

質問項目	R03					R02	R01
	4の割合(%)	3の割合(%)	2の割合(%)	1の割合(%)	平均	平均	平均
1 学校は校訓や学校・学級の目標を生徒にはっきり伝えてくれる。	25.7	58.6	15.3	0.4	3.1	3.0	3.1
2 学校には多様な進路希望を実現できる学科・コースやカリキュラム(教育課程)が整備されている。	54.5	41.4	3.7	0.4	3.5	3.5	3.1
3 学年集会や「総合的な探究の時間」など各学年の活動が充実している。	53.0	42.2	42.2	0.7	3.5	3.4	3.2
4 平和、人権・同和について学習する時間が設定されており、理解と意識を高めることができる。	57.5	39.9	2.2	0.4	3.5	3.4	3.3
5 政治や選挙について学習する時間が設定されており、社会参画の意識を高めることができる。	39.6	48.5	10.8	1.1	3.3	2.8	2.7
6 授業その他で環境問題について学習する時間が設定されており、取組も行われている。	20.9	54.1	20.5	3.7	3.0	2.7	2.6
7 交通安全や事故防止について考える時間が設定されており、指導も適切に行われている。	35.4	52.6	10.4	0.7	3.2	3.1	3.3
8 ボランティア活動について十分な情報提供と呼びかけがあり、多くの生徒が参加している。	34.3	45.5	18.7	1.1	3.1	3.2	3.0
9 いじめや悩みの調査が設定されており、対応も適切である。	38.4	53.7	6.0	1.5	3.3	3.3	3.0
10 文化祭や体育祭等の学校行事が充実している。	53.4	38.4	7.1	0.7	3.4	3.5	3.3
11 部活動は活発である。	59.0	37.3	3.0	0.7	3.5	3.5	3.3
12 図書室には読みたい本(見たいDVD)等があり、蔵書が充実している。	47.4	47.0	4.1	1.5	3.4	3.2	3.0
13 学校は施設の安全・美化が行き届き、環境衛生が保たれている。	17.5	51.9	24.3	6.0	2.8	2.8	2.9
14 先生は進路目標の確立とその実現のために、きめ細やかな指導をしてくれる。	47.0	47.8	4.9	0.4	3.4	3.3	3.2
15 先生は生徒の学力を向上させるために、授業の工夫や充実に取り組んでいる。	48.9	45.1	5.6	0.4	3.4	3.4	3.3
16 先生は生徒のことを理解しようと努め、正すべき点は指摘して適切に指導してくれる。	47.4	44.0	6.7	1.9	3.4	3.4	3.2
17 先生は学習・進路・体調等の相談に親身になって対応してくれる。	51.5	43.3	4.5	0.7	3.5	3.5	3.0

令和3年度 学校評価アンケート結果【保護者】

4：そう思う 3：どちらかと言えばそう思う 2：どちらかと言えばそう思わない 1：そう思わない

質問項目	R03					R02	R01
	4の割合(%)	3の割合(%)	2の割合(%)	1の割合(%)	平均	平均	平均
1 学校の学科・コース・教育課程(カリキュラム)は、子どもの進路希望を実現するものになっている。	38.9	54.5	6.2	0.0	3.3	3.3	3.2
2 学校は子どもの進路目標の確立と実現のために必要な情報を提供して適切な進路指導を行っている。	46.3	45.9	7.4	0.4	3.4	3.2	3.2
3 学校は積極的に保護者や地域に広報・情報発信をしている。	40.9	53.7	4.7	0.8	3.3	3.2	3.4
4 学校は家庭・地域社会と連携・協働した教育活動に力を入れている。	31.9	60.3	7.4	0.4	3.2	3.1	3.3
5 学校は平和教育や、いじめ根絶も含めた人権・同和教育に熱心に取り組んでいる。	31.5	59.5	8.6	0.4	3.2	3.1	3.2
6 学校は交通安全意識を育てるための指導を計画的・組織的に実施している。	28.0	63.0	8.6	0.4	3.2	3.0	3.1
7 学校施設の美化、安全管理、衛生管理は十分になされている。	33.1	59.5	7.0	0.4	3.3	3.2	—
8 子どもの学校生活は、基本的な生活習慣が守られ、規律あるものになっている。	39.3	56.0	3.9	0.0	3.4	3.3	3.4
9 文化祭や体育祭などの学校行事が活発で、子どもたちは生き生きとしている。	49.8	43.6	4.7	1.2	3.4	3.3	3.5
10 部活動は全体的に活発で、子どもは積極的に参加している。	55.3	39.3	4.7	0.8	3.5	3.4	3.3
11 子どもはボランティア活動に積極的に取り組んでいる。	26.5	50.2	19.8	3.1	3.0	2.9	3.1
12 職員は子どもをよく理解し、真剣に対応してくれる。	42.0	48.2	7.4	1.2	3.3	3.2	3.3
13 子どもの学習や進路について、保護者は職員に相談しやすく、対応も適切である。	42.8	49.4	6.2	1.2	3.3	3.3	3.3
14 子どもの体調や悩みなどについて、保護者は職員に相談しやすく、対応も適切である。	44.0	50.2	5.1	0.8	3.4	3.3	3.1
15 子どもの学校での様子や事故・病気等について、職員は家庭への連絡を適切に行っている。	49.8	44.0	5.8	0.0	3.4	3.3	3.3
16 訪問時や電話での職員の対応は丁寧かつ適切である。	57.6	39.7	2.7	0.0	3.5	3.5	3.6
17 事務室は諸納金や証明書等について適切に対応している。	59.9	38.1	1.2	0.0	3.6	3.4	3.4

【総評】

<p>評価の結果 (課題と問題点)</p>	<p>(1) 生徒・保護者の評価</p> <p>○生徒によるアンケート結果は17項目中9項目(評価が下がったのは1項目)、保護者によるアンケート結果は17項目中14項目(評価が下がった項目はない)で昨年度より評価が高くなった。新型コロナウイルス感染症防止のために来校される保護者の方を制限しながらも、工夫して行事を実施することができた。来年度も保護者のみなさまには本校の教育活動や生徒の学校での様子をご覧いただけるように工夫をしていきたいと考えている。</p> <p>○例年、施設の安全・美化についても評価が低い。施設が古いことが影響している。校内の清掃に心がけ、美化に努めたいと思う。</p> <p>(2) 職員の自己評価</p> <p>○一人一台端末が導入され、職員研修等も行ったが、まだまだ活用方法の研修が必要である。また、アプリの導入等検討していきたい。</p> <p>○多様な進路希望に対応できる科・コース・クラスの設置を進めてきた。令和3年度が、グローバルコースの特進化、福祉科の完成年度だった。進路結果や状況を踏まえ、検証が必要である。</p>
<p>来年度の改善策</p>	<p>(1) 次年度も、感染症対策には細心の注意を払いつつ教育活動を維持できるよう努力する。</p> <p>(2) 施設・設備については県に必要な改修を要望する。清掃活動については、行き届かない箇所がないように定期的にチェックするなど工夫をしていく。</p> <p>(3) 研究授業や公開授業などをおして、授業力向上を目指す。また、ICTの活用については引き続き、広報研修部やICT推進委員を中心に進めていく。</p> <p>(4) 特進クラスとしてのグローバルコースと福祉科において、初めての卒業生を送り出した。名称を変更した普通科ベーシックコースや生活創造コースも含めて、新たなスタートを切る。これまでの3年間を反省、検証し、特色に応じた授業のあり方、補習や模擬試験、就職・公務員の指導計画、福祉科の国家試験取得指導計画を、改めて策定する。</p>